

# SDGsの達成に向けた教育実践報告



オーガナイザー：琉球大学国際地域創造学部准教授 大島順子 会場：文系講義棟111教室

## 【目的】

沖縄県内で ESDやSDGsの達成に向けた教育に取り組む学校の実践を共有し、持続可能な社会の創り手を育成する教育実践に取り組むヒントを得ます。小中高や学校種、そして教科を超えた連携という視点からも議論を深めます。

## 【ワークショップの背景】

SDGsの実現に貢献するESD (Education for Sustainable Development : 持続可能な開発のための教育) は、「地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて自ら行動を起こす力を身に付けるための教育」として、2002年からユネスコを主導機関として国際的に取り組まれてきました。2015年9月には国連サミットで「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、「持続可能な開発目標(SDGs)」(17の目標と169のターゲットで構成)が掲げられました。ESDは、このうち、目標4「すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯教育の機会を促進する」のターゲット4.7に位置付けられましたが、ターゲットの1つというだけでなく、SDGsの17全ての目標の実現に寄与するものであることが国連総会において確認されています。また、持続可能な社会の創り手を育成する ESD は、持続可能な開発目標を達成するために不可欠である質の高い教育の実現に貢献するものとされています。

沖縄県では、これまでESDを推進する研究指定校として支援してきたことを踏まえ、2021年度からSDGsの達成に向けた教育研究指定校を創設しています。本日のワークショップは、その指定校の報告会として、また昨年より活動を始めた沖縄ESDティーチャー研究会(※)の隔月研究会としても位置付け、ESD実践のために自らが主体的に学び、互いに学び合う場としたいと思います。

## 【プログラム】

1.開 会 神村智子(沖縄県教育庁生涯学習振興課社会教育主事)

### 2.実践報告

1.石垣市立白保小学校「学校・家庭・地域と連携した持続可能な取り組み」  
報告者：小嶋成臣(石垣市立白保小学校教諭)

2.南風原町立南風原中学校「持続可能な社会の実現に向けて学び続ける生徒の育成」  
報告者：大城真紀子/玉城晃(南風原町立南風原中学校教諭)

3.沖縄県立具志川高等学校「私たちにできること+SDGs」  
報告者：具志川高等学校生徒会「琉球Blue Earth project」の皆さん

3.指導助言 及川幸彦(東京大学海洋教育センター主幹研究員)

4.閉 会

※このWSには、沖縄ESDティーチャー研究会のメンバーも参加します！

今回の参加をきっかけにお仲間になりませんか。

### 沖縄ESDティーチャー研究会とは

- ESDの視点を持った授業づくりの実践につながるネットワーク(幼小中高大での実践を共有し、相互に活かしていく)の構築を目指します。
- 定期的に指導案を持ち寄って実践の報告や相互の近況報告等を行うことで、ESDやSDGsの達成に向けた教育の授業実践の量と質を高めることにつなげます。
- 職務に負担にならない相互理解と主体性、教科の多様性、経験の有無を問わない開放的な雰囲気大切に集まりです。